

柏地域医療連携センター 相談状況

【令和 6 年4月～令和 7 年3月】

地域医療推進課

在宅医療・介護推進事業における相談支援の「目的」

地域の医療・介護関係者や地域包括支援センターから、在宅医療・介護連携に関する相談等を受け付け、連絡調整、情報提供等により、その対応を支援すること

※在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver.4 より抜粋

1 - ① 【相談支援業務】対応フロー

相 談



相談は、電話や来訪などで受け、保健師、医療ソーシャルワーカー等が対応



課内レビュー

相談担当者間で、内容を共有、対応の検討などを実施

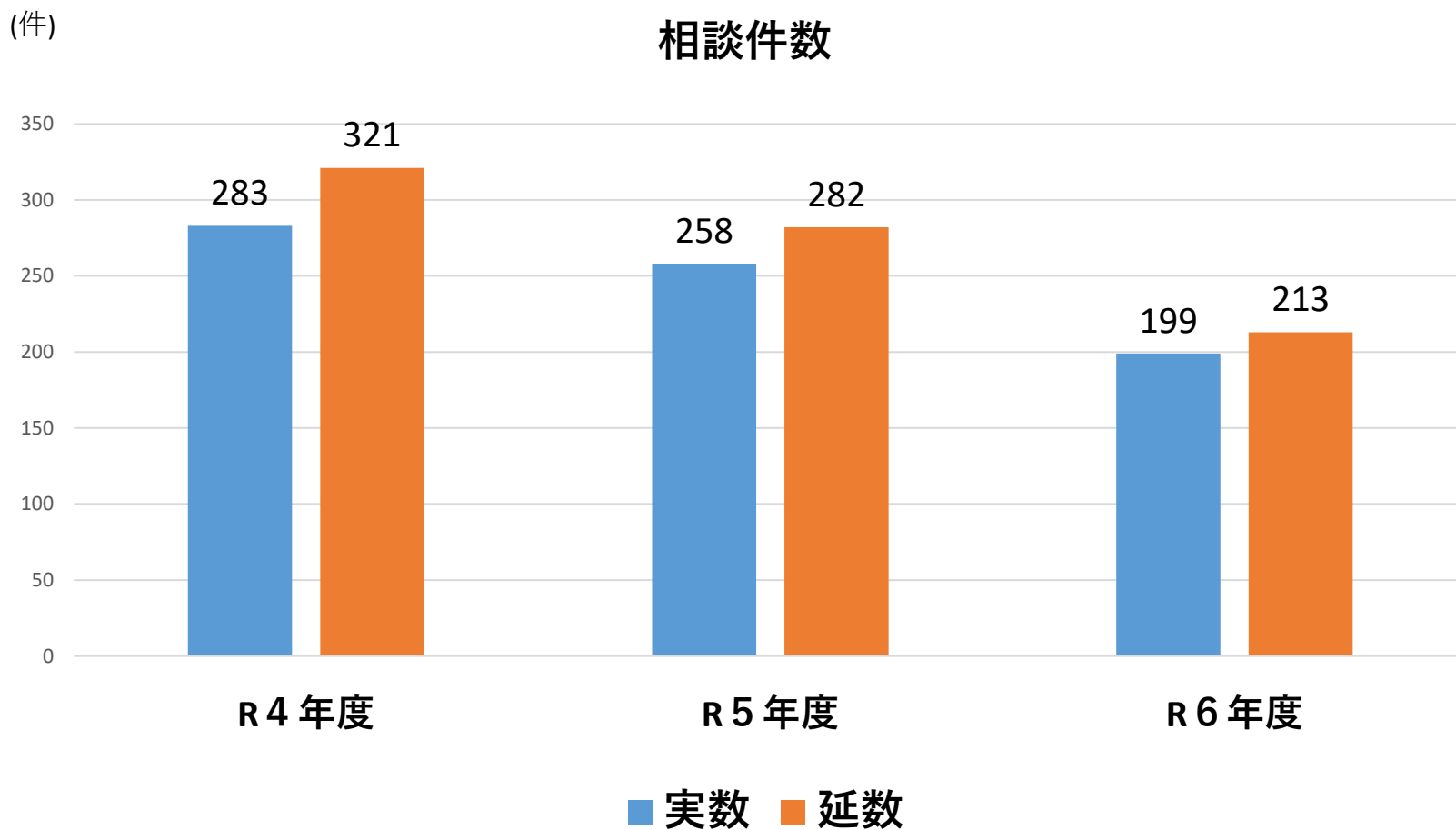


医師レビュー

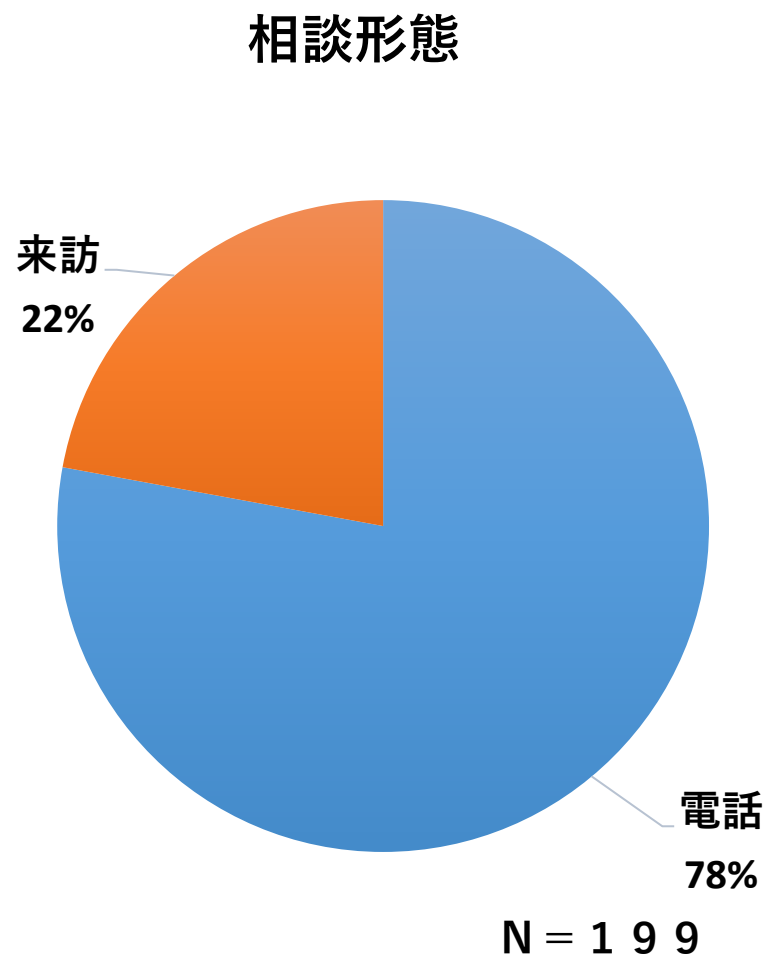
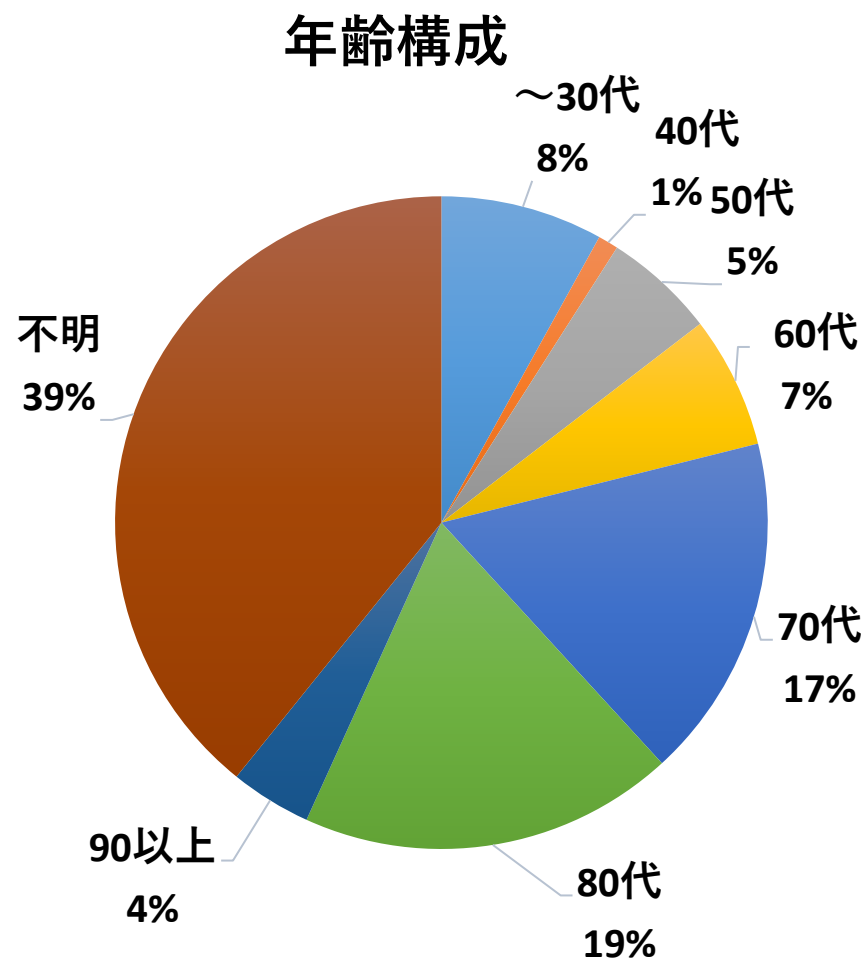


柏市医師会「在宅・プライマリケア委員会」
報告・共有

1 - ②【相談全体】 相談件数

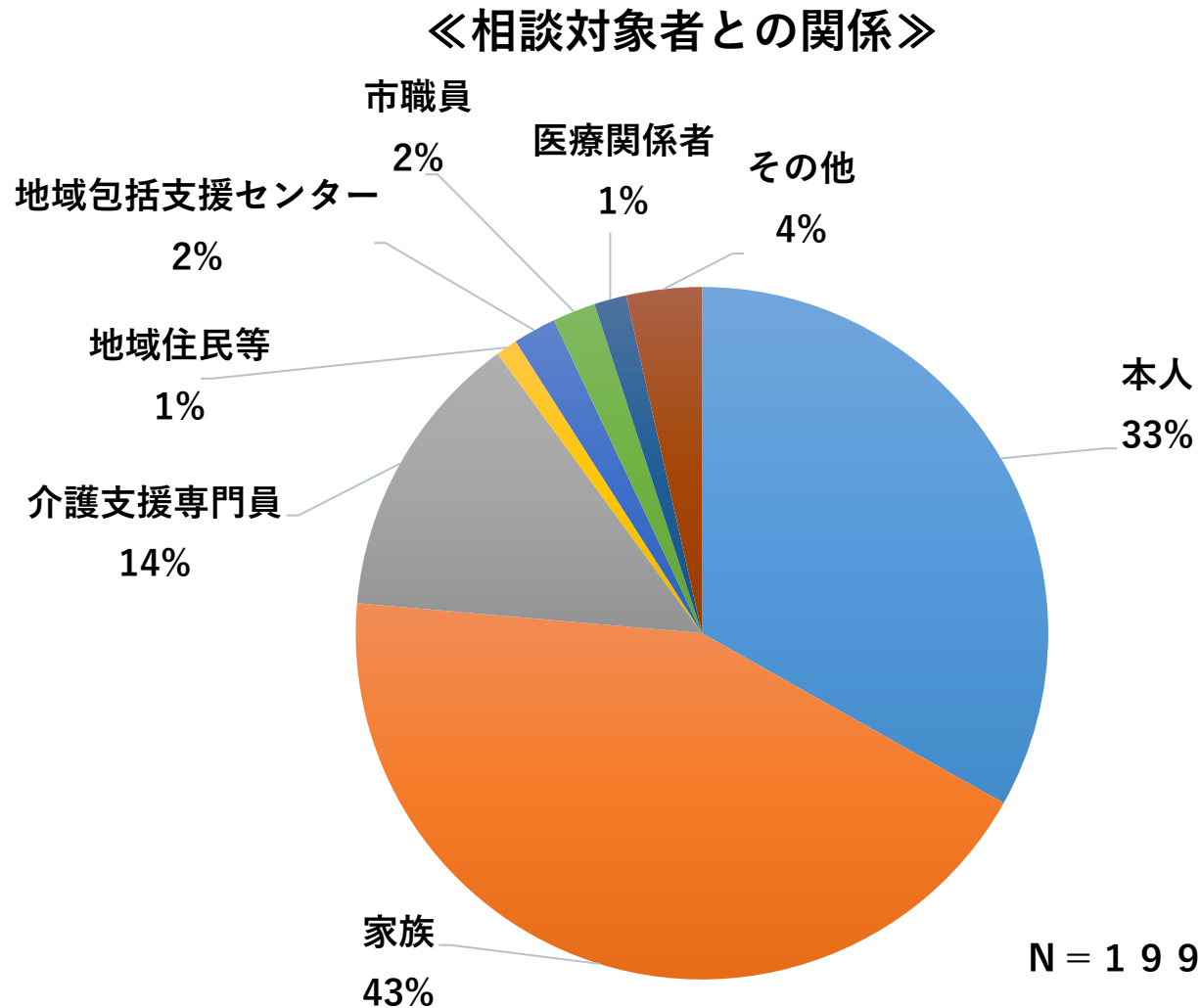


○ R 6 年度の相談件数は、実数延数ともに前年度よりやや減少となっている。



○相談対象者は、60代以上が約半数だった。
○相談形態は、電話が約8割を占めている。

1－④【相談全体】 相談者の状況

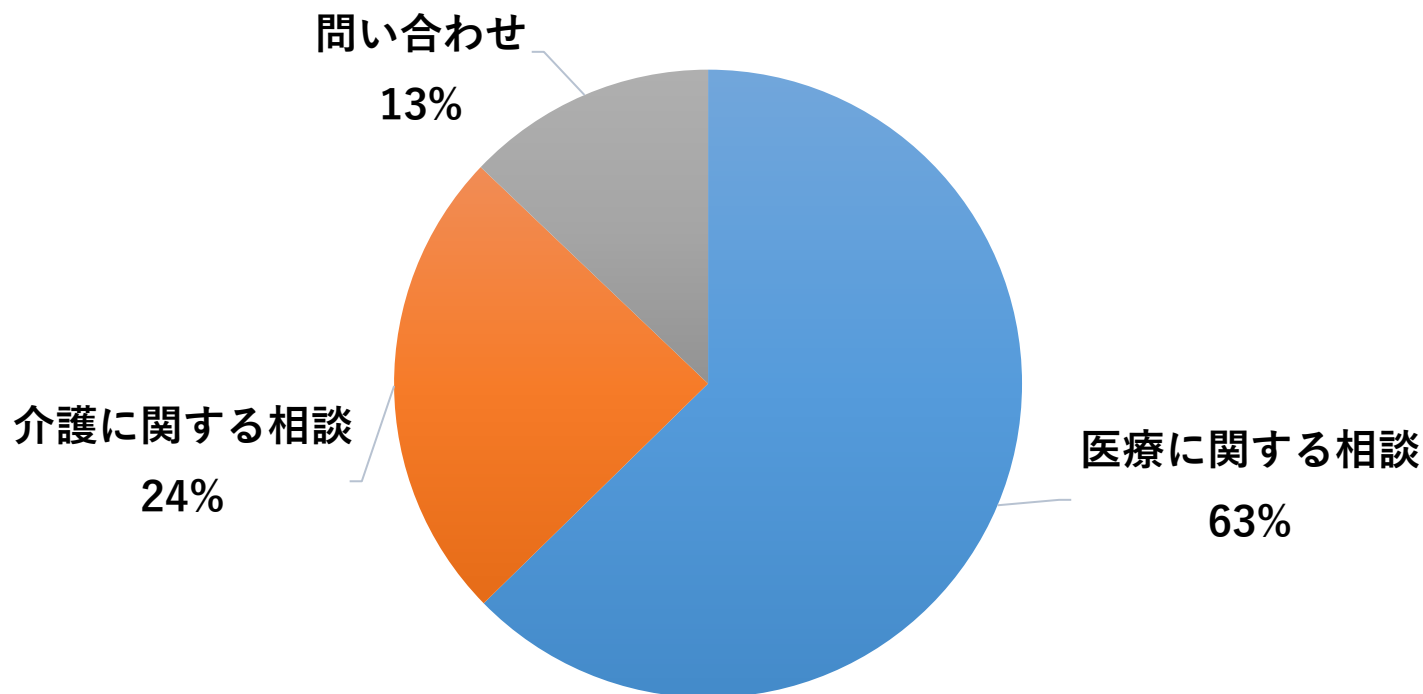


○本人・家族からの相談が約8割だった。

○本人家族以外からの相談は、介護支援専門員が多い。

1－⑤【相談全体】 相談内容

※相談は、各項目を同時に受けることがあり、それぞれでカウントされている。

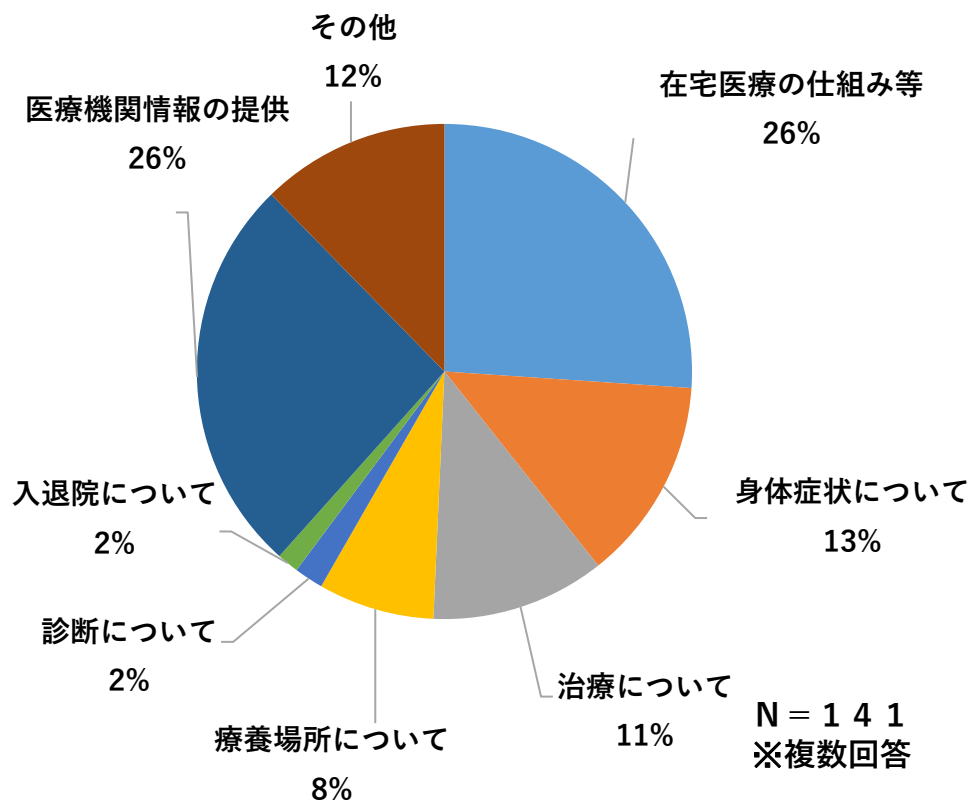


N = 225

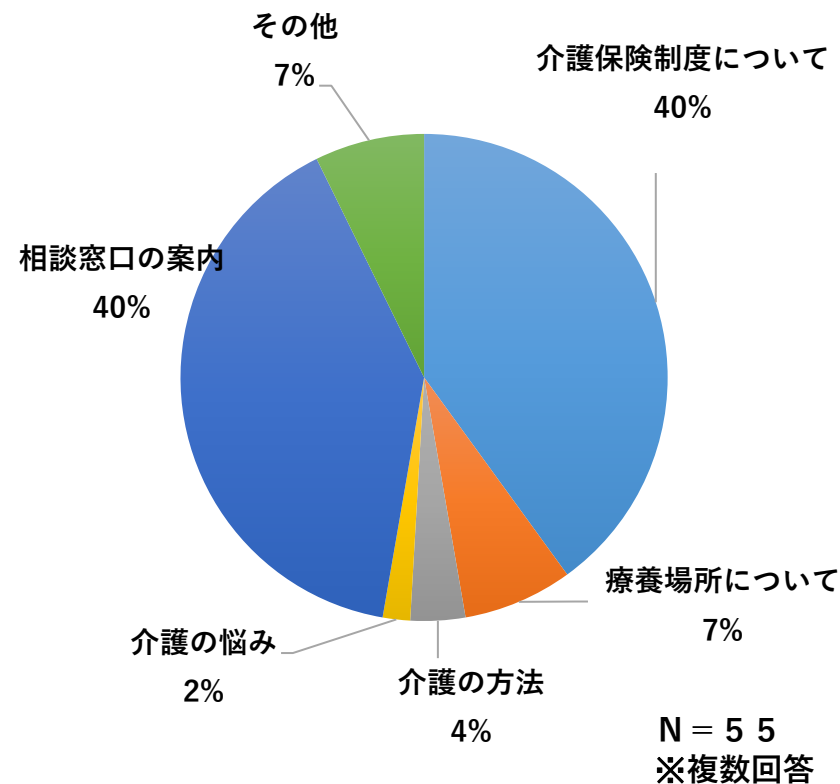
- 医療に関する相談が約6割、介護に関する相談が約2割だった。
- 問い合わせは、医療や介護に関する相談以外の対応窓口の案内などだった。

1－⑥【相談全体】 相談内容

医療に関する相談



介護に関する相談

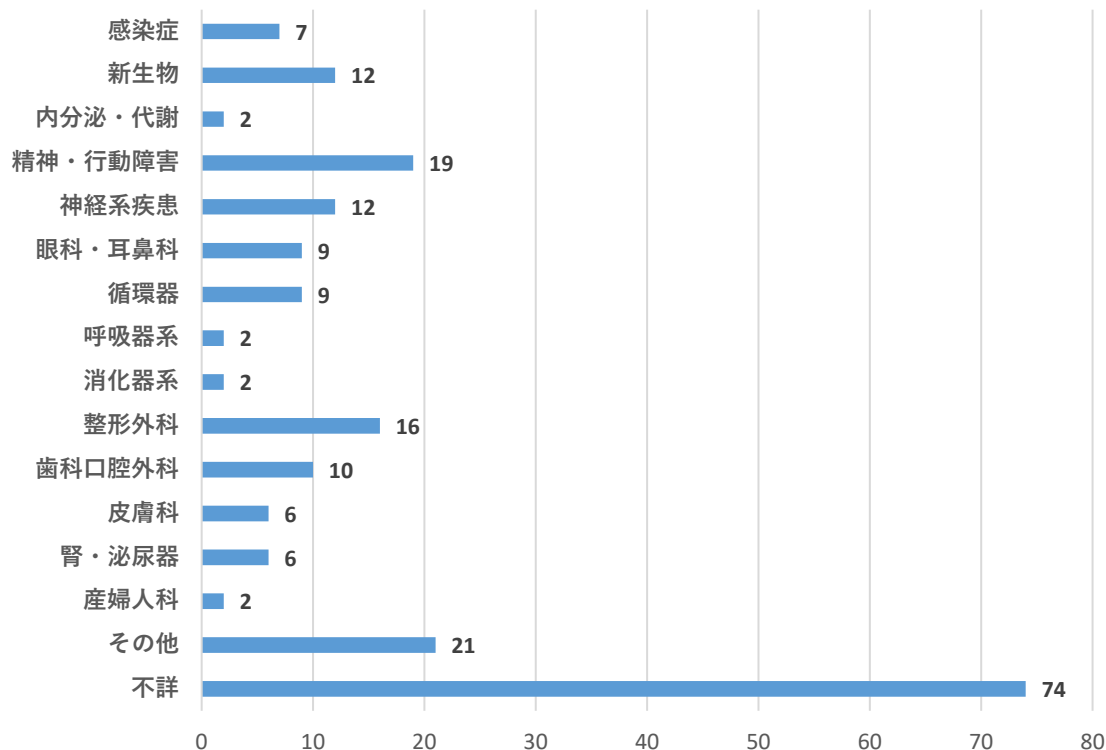


- 医療に関する相談は、在宅医療の仕組み、身体症状についてが多かった。
- 介護に関する相談は、介護保険制度に関することが最も多く、次いで療養場所についてが多かった。
- 各相談項目と併せて、医療機関情報の提供や相談窓口の案内をしていることが多い。

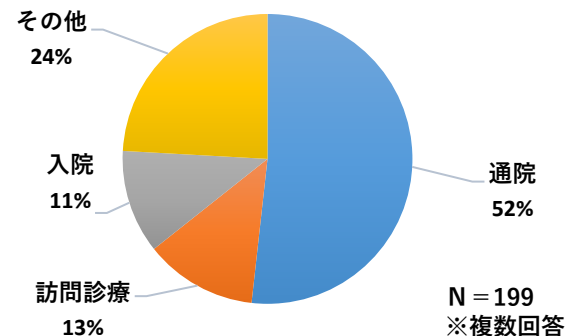
1－⑦【相談全体】 相談対象者の疾患および受療状況

疾患の状況 (件)

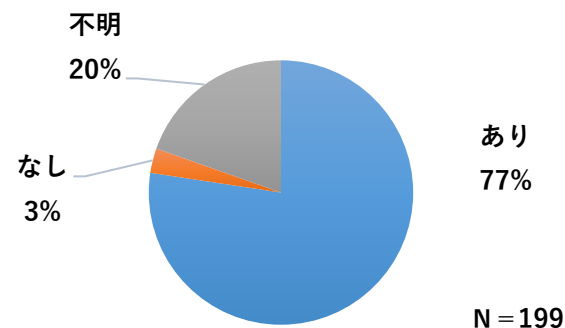
N = 209※複数回答



診療状況



かかりつけ医



○相談対象者の疾患は、多岐にわたっている。

○「不詳」は、わがやの掲載記事に関する問い合わせなど、疾患と直接関係のない相談も含まれている。

○相談対象者の半数が通院中で、約8割がかかりつけ医を持っていた。

目的：連携センターの総合窓口における相談技術の向上及び
相談機能の体制強化を図る。

1. 課内レビュー

相談内容の情報共有・相談員のスキルアップと標準化

- ・ 全相談件数の報告・共有・対応検討

2. 医師レビュー

専門的助言により相談の質の担保・相談員の人材育成

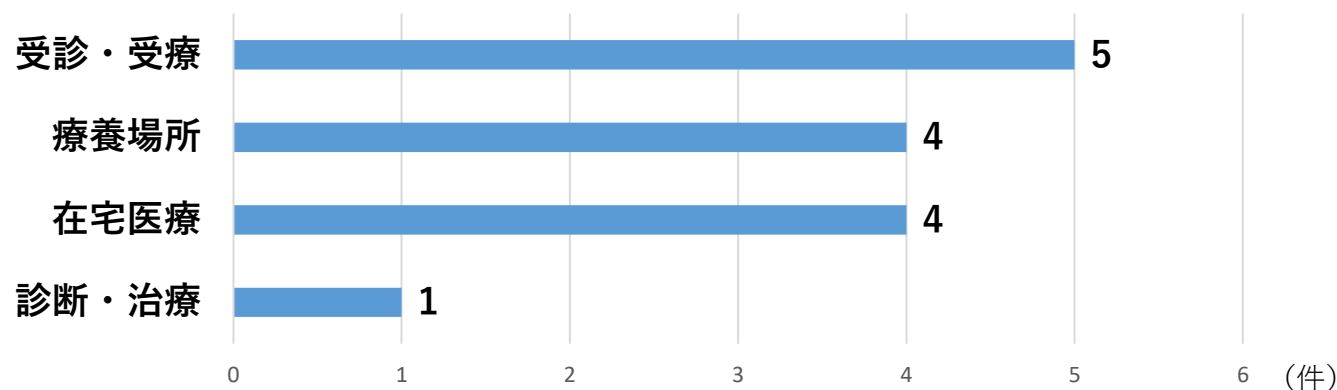
- ・ 柏市医師会（在宅・プライマリケア委員会）推薦医師を柏市の非常勤特別職員として委嘱
- ・ 医療および介護に関する相談から抽出したものについて助言

3. 柏市医師会「在宅・プライマリケア委員会」報告・共有

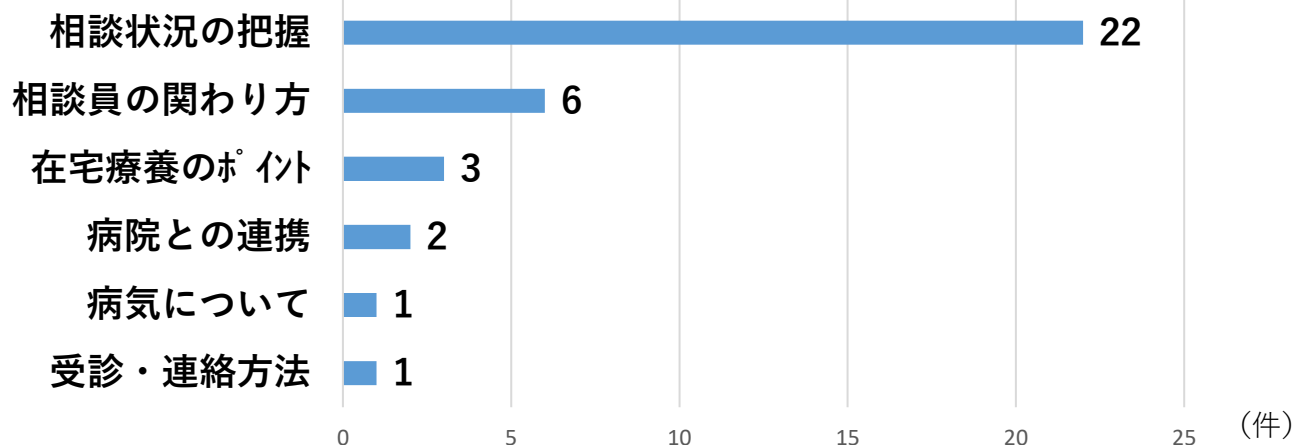
- ・ 毎月の相談状況と医師レビューの報告

2-②【相談レビュー】医師レビュー相談および助言内容

相談内容(重複あり)



助言内容(重複あり)



○連携センターに入っている相談内容を共有するとともに、在宅療養のポイントや相談員の関わり方などについて助言を受け、相談対応に活かしている。

3 今後に向けて

○ 市民が気軽に相談できる窓口としての機能の維持向上

医師レビュー等を通して相談技術の向上に努め，市民等からの相談に対し，必要な 支援や制度および地域包括支援センター等の関係機関に繋げていく。

○ 医療・介護関係者への相談対応および連携支援の継続

地域包括支援センター，医療機関および職能団体との調整（後方支援機能の役割）を通して，多職種連携が円滑に行われるよう支援していく。

○ 相談支援について分析・評価，今後の相談体制の整備

相談支援について分析・評価をし，今後の相談体制について検討していく。